

# 月刊 城南 SSH

福岡県立城南高等学校  
スーパーサイエンスハイスクール  
活動報告紙

令和2年度 10月号  
SSH部発行

## 第一薬科大学主催第2回高校生サイエンス研究会 奨励賞受賞！



「沸騰をもっと簡単に！」研究メンバー



代表発表者（理数コース3年 仲川壮哉）

令和2年6月に行われた第一薬科大学主催オンライン発表会にて、第3学年理数コースの研究「沸騰をもっと簡単に！」が“奨励賞”を受賞しました。

他県のSSH校も併せて13校が参加し、全部で71の研究が発表されました。その中の優秀な発表5つが“奨励賞”です。

研究内容はもちろん、「生徒自身の言葉で発表していること」、「研究に対する誠意と熱意が十分に感じられること」を、高く評価していただいたようです。

## 令和2年度 「サイエンスミーティング」実施

9月26日（土）にサイエンスミーティングが実施されました。この講演会は、企業や大学で研究職や技術職に従事する理数コースの卒業生の方々を講師としてお迎えし、毎年実施しています。本年度は、データサイエンスや薬品開発、エネルギー供給、塗料開発、生物研究等の分野の講師にお話しいただきました。以下に生徒の感想を紹介します。

- 「付加価値」を自分につけることが大事である。
  - 高校・大学の学習内容は、社会で活躍する基礎力である。
  - 新薬の開発はお金と時間がかかるし、ほぼ失敗するが、挑戦し続けることが大切である。
  - データサイエンスにおいて数学（統計学）が重要である。
- 先輩方の姿と将来の自分とを重ね、自身の無限の可能性を実感できた有意義な講演会となりました。



ホールミーティング(全体会)の様子



グループミーティング(分科会)の様子



## 第1学年 ESD 探究 「プレ課題研究」実施



班での調査の様子

9月23日(水)7限、9月30日(水)7限のESD探究の時間を使って、プレ課題研究「紙飛行機選手権」を実施しました。23日に実験の仕方・考察の仕方・レポートの書き方について学び、30日に実験を行いました。初めてのクラスの枠をこえたグループでの活動に、最初は戸惑っていた生徒も見受けられましたが、最終的には「紙の大きさと紙飛行機の滞空時間の関係」について楽しそうに探究することができていました。リフレクションシートには、次はもっと積極的に話し合いに参加したい」といった、前向きなコメントも多く見受けられました。